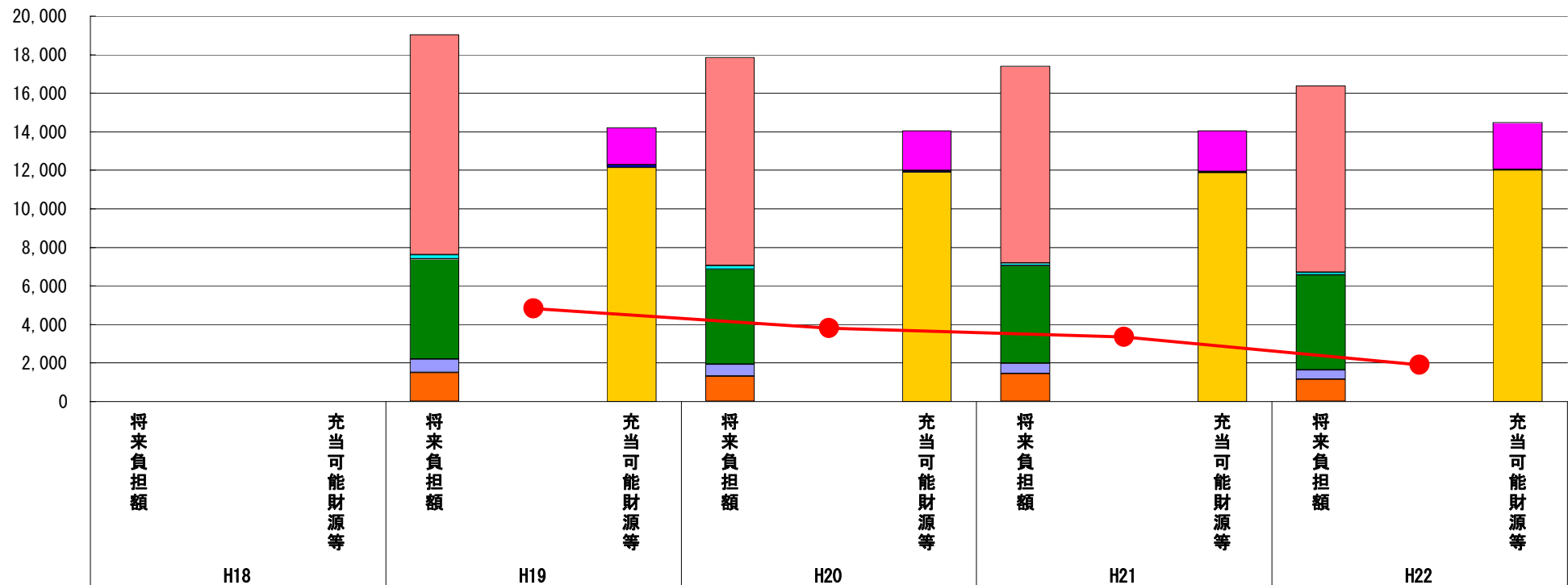


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

広島県海田町

（百万円）



（百万円）

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		-	11,428	10,811	10,214	9,676
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	208	182	155	128
	公営企業債等繰入見込額		-	5,199	4,942	5,045	4,933
	組合等負担等見込額		-	683	612	539	466
	退職手当負担見込額		-	1,511	1,318	1,457	1,165
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		-	1,917	2,060	2,126	2,430
	充当可能特定歳入		-	129	88	54	16
	基準財政需要額算入見込額		-	12,155	11,907	11,870	12,024
(A) - (B)		将来負担比率の分子	-	4,828	3,809	3,359	1,897

分析欄

17年度以降、新発債の抑制や繰上償還等によりプライマリーバランスの黒字化を保ち、一般会計等に係る地方債の現在高は毎年度縮減してきています。

また、財政の効率化や地方債現在高の縮減により、財政調整基金残高の確保を行ってきたことから、充当可能基金（地方債の償還額等に充当可能な基金）が毎年増加しています。

このことから、将来負担比率の分子は、減少傾向にあります。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。